

関係者各位

標記の件について、関西電力大飯発電所3、4号機に係る情報がありましたのでお知らせします。

本日(23日)0時30分頃、大飯発電所4号機の電動主給水ポンプ※の定例試験を実施していたところ、異常が確認されました。このため、0時33分にポンプを手動停止しました。

※電動主給水ポンプ: 蒸気発生器に二次冷却水を供給するポンプ。通常はタービン駆動の主給水ポンプにより水は供給されており、電動の本ポンプは予備のもの。0時20分に本ポンプを起動していた。

現場確認をしたところ、ミニマムフローライン※の弁が閉止していることが確認されました。

※今回の定例試験では、ポンプから出てきた水はこのミニマムフローラインを通してポンプに戻る流れになっている。

今回の試験に伴う警報(「電動主給水ポンプ自動起動待機未完」)は出ているが、予期せぬ警報は出ていません。

ポンプ停止時に一時的に電気出力が変動(約0.8%上昇)したが、現在は定格出力に戻っており、また、タービン駆動の主給水ポンプは正常に機能していることから、運転状態に問題ないことを確認しています。

外部への放射性物質による影響はありません。

原因については、ミニマムフローラインの弁の部品が外れていることが確認されており、これにより弁が閉止したものと推定。部品が外れた原因については調査中です。

なお、本件については、即時公表に該当する事象ではありませんが、機器の故障が発生していることから、念のため、メール配信するものです。

以上